

うちなだ 議会だより

Vol.156

令和6年(2024)

3月5日発行



議長メッセージ 2
委員会レポート 3
立地適正化計画 令和7年度末に策定へ	総務産業建設常任委員会
こども家庭センター 設置の目的はどんなものか	文教福祉常任委員会
こども家庭センターの設置 12月会議 4 - 5
一般質問 6人が登壇 7 - 13
被災地レポート 14



議長メッセージ



私は、昨年5月の組織議会において、議員各位のご推挙をいただき議長という大役を仰せつかりました。その職責の重さを認識しつつ、公平中立な議会運営を目指して微力ではございますが、誠心誠意努めてまいりました。新年を迎えるにあたり、あらためて町民の皆様と議員各位のご指導とご協力に対して、感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、記録的な猛暑や線状降水帯の影響による豪雨で北部地区において崖くずれや浸水被害が発生するなど、自然災害に見舞われた年でした。また、ウクライナ情勢などによる影響で燃料や食料価格が高騰するなど、町民生活に大きな負担を及ぼした年でもありました。

新型コロナウイルス感染症については収束に向かい、本町においてもアカシアロマンチック祭や町民体育祭など各地区での夏祭りや各種のイベントが4年ぶりに開催することが出来ました。やはり、人と人が集うということは、嬉しい限りで、本当に大切なことだと、あらためて実感いたしました。

今年は飛躍の年と思っていた矢先に1月1日能登半島地震が発生し、避難行動からのスタートとなりました。この地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、ご遺族にお悔やみを申し上げます。また被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

町被災地では、区長・町会長並びに区会・町会の皆様が自らも被災された中、地域社会の先頭に立って、被災者支援に当たっておられます。その献身的なご苦勞に対し、心から敬意を表します。今後は、被災から復旧を急がなければなりません。

政府はインフラ復旧を急ぐ考えを表明。併せて住宅確保・生活、経済基盤の回復するために「中長期的な課題、復興・復旧に迅速かつ計画的に取り組みたい」と。また、プッシュ型の物資支援を強化するため、5,000億円の予備費使用を閣議決定しました。首相は「予算の制限で復興・復旧を躊躇することは絶対ない」と強調。補正予算編成について必要な対応をしていくと述べました。

その上で、町は単に元に戻るのではなく、新たな社会を創造する復興を果たしていくことが必要です。震災前から町が直面している課題の解決も併せて行っていかなければなりません。

その一つとして、内灘町立地適正化計画（人口減少や少子高齢社会に対応したコンパクトな町づくりを進めるため、住宅や都市機能を誘導し、人口密度の維持と暮らしやすく持続可能な町づくりの実現を目指す。）を策定中であり、議会（私）としては南部・北部地区を含めた都市の再整備にすべきと考えております。

多くの町民の意見を活かす議会、町民と共にある議会を目指しております。

今後も議会の使命である監視機能を強化し、常に行政側と緊張感を持ちながら取組んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

内灘町議会議長 七田 満男

総務産業 建設常任 委員会

立地適正化計画 令和7年度末に策定へ

◎恩道正博 ○西尾雄次 南 守雄
中川 達 磯貝幸博 中村 聡

12月の委員会では、令和5年度一般会計補正予算を含む11議案を審査し、全て可決した。

また、請願第2号土地の借地料の免除を求める請願については継続審査に決した。

執行部から立地適正化計画の策定進捗状況の報告があり、それに対し委員より、北部を含めた課題の整理が必要ではないかと指摘があった。執行部からは、北部地区については町の施策として振興を図り、国や県と協議していきたいとの回答があった。

一般会計補正予算

問 ショベルローダー売却収入とあるが、除雪作業の遅滞とはならないのか。

答 今年度の除雪作業における、売却した除雪車の区域は、リース車対応する。

問 昨年に引き続き人件費が増額となるが、他の経費削減についてどう考えているのか。

答 行政改革を進め、更なる経費削減に努めたい。



7月豪雨の現状（西荒屋）

問 北鉄浅野川線への行政の関わり方について、「みなし上下分離方式」導入に係るマイナス面はないのか。

答 国の補助率が2分の1とされているが、国の予算の上限に達した場合、鉄道事業の運営費に係る補助金が減額される可能性がある。

報告事項

7月の大雨で住家の床下浸水被害を受けた方に対し、県より1件あたり5千円の義援金の配分があった。

文教福祉 常任委員 会

こども家庭センター 設置の目的はどんなものか

◎清水文雄 ○土屋克之 夷藤 満
北川悦子 生田勇人 川口正己

12月の委員会では、11議案を審査し、全て可決した。

また、請願第一号健康保険証廃止の中止等を求める意見書採択の請願については、賛成少数で不採択とすることに決した。

問 ほのぼの湯の運営管理に関する増額補正の詳細は。何が原因で一千万円の増額補正をするのか。

答 コロナ前の令和元年度の入館者数は約21万人超。令和2年度には約15万人に落ち込み、令和5年度は約17万人超の見込み。

また令和元年度と比較すると、物価高騰の影響により、消耗品費で50万円以上、燃料費、電気代等で680万円増加する見込みであるため。

問 同じく指定管理を受けている（株）エイムが管理している温水プールでは、なぜ増額申請をして来ないのか。

答 企業努力もあるが、温泉と温水プールの温度が違ったためと考える。

問 こども家庭センターとは、一体どういうものか。

答 改正児童福祉法により、令和6年度4月1日の施行日と同日開所に向け、保健センターの改修を行い設置する。

全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへの切れ目のない相談支援を目的とした施設。

問 人員配置はどうなるのか。

答 既存の体制を大きく変えることなく実施するが、不足する場合は増員や職員の資格取得等により対応する。



工事中の「こども家庭センター」

12月会議
12月5日～
14日

センターの設置

子どもたちのために

こども家庭センターの設置

742万円

令和6年4月の開所に向け、令和5年度内に保健センターの施設改修を行う。一体的に全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ切れ目のない相談支援を行うことを目的とした機関。



子育て応援臨時給付金事業

4400万円

物価高騰に直面している子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、18歳以下の子ども1人あたり1万円を対象者の保護者に支給する。



令和5年12月会議は12月5日から12月14日までの10日間開催され、令和5年度補正予算9件、条例の改正10件など計21議案、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてなど諮問4件を審議し、全て原案のとおり承認・可決・適任とした。
また、議会議案として「小中学校給食費の無償化を求める意見書の提出について」を可決した。

条例の改正

(主なもの)

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の年間支給月数

3・300月→3・400月

常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の年間支給月数

3・300月→3・400月

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

①一般職の若年層に重点を置き、給料月額を引き上げる。

②期末・勤勉手当の年間支給月数

一般職 4・400月→4・500月

定年前再任用短時間勤務職員

2・300月→2・350月

※右記の3条例は人事院勧告に準ずるもの。

内灘町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

一般職の給与改定に準じ、給料表の改正を行う。



少子化対策の一環 「子ども家庭

被災者のために（令和5年7月豪雨）

被災農業者再建支援事業費補助金

213万円

被災した農業者を対象に、追加的に必要となった農薬等や種苗のまき直し、災害ごみの撤去費用等に対する補助金。

農地災害復旧事業

444万円

大雨被害の影響を受けた宮坂及び西荒屋地区の農地復旧を図るための工事請負費。

畑地かんがい施設災害復旧事業

234万円

大雨被害の影響を受けた西荒屋地区の畑地かんがい施設の復旧を図るための工事請負費。

被災事業者再建支援事業費補助金

185万円

大雨により被災し、石川県被災事業者再建支援事業費補助金を活用して復旧に取り組む事業者に対し、町で上乘せ支援を行う。

その他の主な事業

- ・住民基本台帳システムの改修費用 1694万円 氏名の振仮名法制化に伴う改修
- ・河北潟水質監視装置撤去工事 330万円 故障した河北潟水質監視装置の撤去
- ・温浴施設等管理委託料 1000万円
- ・サイクリングターミナル指定管理委託料 1000万円

上記2施設の入館者数、利用者数は増加傾向であるが、コロナ禍前までは回復しておらず、依然として厳しい経営状況であるため。



長谷川 肇氏

(再任) 宮坂 (68歳)



山崎 哲雄氏

(再任) 向栗崎 (68歳)



中村由利子氏

(再任) 大根布 (72歳)



松田 京子氏

(再任) 向陽台 (66歳)

人権擁護委員

人事案件

(全員賛成)

指定管理者の指定

指定期間…令和6年4月1日～令和9年3月31日

・内灘町産業支援センター

指定管理者…内灘町商工会

・内灘町体育施設（総合体育館等）

指定管理者…特定非営利活動法人

スポーツクラブプラッツうちなだ

12月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	中村	土屋	西尾	磯貝	七田	川口	生田	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
				聡	克之	雄次	幸博	満男	正己	勇人	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
議案第55号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度内灘町一般会計補正予算(第4号)〕		承認	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和5年度内灘町一般会計補正予算(第5号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和5年度内灘町新エネルギー事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和5年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和5年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和5年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和5年度内灘町水道事業会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和5年度内灘町下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	×	-	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第64号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第65号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	内灘町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	内灘町印鑑条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	内灘町手数料徴収条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	内灘町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	内灘町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	内灘町火災予防条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	内灘町産業支援センターの指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	内灘町体育施設(総合体育館等)の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和5年度内灘町一般会計補正予算(第6号)		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	内灘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	健康保険証廃止の中止等を求める意見書採択の請願		不採択	○	×	○	×	-	×	×	×	○	×	○	×	×
請願第2号	土地の借地料の免除を求める請願(※継続審査に対する賛否)		継続審査	○	○	○	○	-	○	○	○	除	○	○	×	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第7号	小中学校給食費の無償化を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、-は採決に加わらない

意見書の提出

可決

議会議案第7号
小中学校給食費の無償化を求める意見書の提出について

◎提出者 生田勇人
◎賛成議員 清水文雄 恩道正博

要旨

経済的に苦しい状況にある保護者が多い今、国の施策により、小中学校の給食費無償化を早期に実現するよう求める。
※内閣総理大臣含む関係大臣へ意見書を送付済。

請願の審査

不採択

第1号 健康保険証廃止の中止等を求める意見書採択の請願書

◎請願者

石川県社会福祉推進協議会
代表委員 松浦健伸
◎紹介議員 北川悦子

要旨

健康保険証の廃止により健康保険証を持たず、保険診療を受けられない人が生じないように、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化について、中止を含め見直すよう要望する意見書提出を。

継続審査

第2号 土地の借地料の免除を求める請願書

◎請願者

社会福祉法人NGU福祉会
理事長 松本茂美
◎紹介議員 北川悦子

要旨

現在の諸物価の高騰は、経営を大きく圧迫している。町への土地の借地料年額 123万4,800円について、今後5年間を目標として全額免除をを求める。



質問と答弁の詳細は町ホームページ→内灘町議会→会議録でご覧ください。

町政も問う

一般質問 (12月7日)

6人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。



会議録

しみず 清水 8
ふみお 文雄

- ・入札制度を変動型導入へ
- ・障がい者福祉施設への支援策の考えを聞く



YouTube

いそがい 磯貝 9
ゆきひろ 幸博

- ・給食費負担を軽減する仕組みづくりを
 - ・元気内灘地域応援クーポンの電子化をすすめよ
- その他2問

きたがわ 北川 10
えつこ 悦子

- ・会計年度任用職員の勤勉手当を問う
 - ・補聴器購入助成制度と聴覚検診について
- その他2問

おんどう 恩道 11
まさひろ 正博

- ・被災者生活再建支援制度を創設せよ
- ・医療施設への物価高騰対策を問う

にしお 西尾 12
ゆうじ 雄次

- ・不登校児童・生徒への支援を充実せよ
- ・新図書館と財政負担能力について

つちや 土屋 13
かつゆき 克之

- ・シルバー人材センターのインボイス対応は
- ・風車撤去費用の消費税還付について



ギン
3歳10カ月 ♂
トイプードル
大根布

題字 上野雅子さん(西荒屋)



しみず ふみお
清水 文雄

入札制度を変動型導入へ

町長 導入は令和6年度中で



町としての選択は

問 町工事の入札で、最低制限価格と同額の件数とくじ引による落札決定件数を聞く。

答 価格と同額の入札件数は、令和4年度は6件、令和5年度は11月末までに6件。

また、くじ引による落札決定件数は、令和4年度は5件、令和5年度は11月末までに3件。

問 町工事の入札に最低制限価格の変動型導入への見直しを提案してきて。近隣自治体で官製談合が発生したことを受け、改めて町長の考えを聞く。

答 ※変動型最低制限価格制度は、より公正性や透明性が高い入札制度。導入へ見直しを進める。実施はシステムの改修期間を要するため、令和6年度中としたい。

「福祉の町、内灘」の支援策

問 福祉事業者の現場は深刻な人手不足により疲弊し、物価高で経営は厳しく、光熱費や食費がコロナ前の2019年と比べて、1.8倍ほどに膨れ上がっている。「利用者が不便になることは、絶対にできず身を切るしかない」などの苦悩は、今12月会議へ提出されている社会福祉法人からの請願でも明らかだ。

「誰一人取り残されない社会」のもと、「福祉の町、内灘」として今後の障害者福祉施設への支援策の考えを聞く。

答 今年度、石川県において医療・福祉施設などに対する物価高騰対策支援事業を実施していることから、現在のところ、町単独での支援は考えていない。今後、国県の動向に注視していく。



福祉施設 うちなだの里

※変動型最低制限価格制度(内灘町では令和6年度中に導入予定)

- ・ランダム型
公契連(中央公共工事契約制度運用連絡協議会)モデルにより算出された額に変動する係数を掛けて、最低制限価格を算出する方法。(金沢市・白山市にて導入)
- ・入札者平均型
入札者の平均価格を元に係数を掛けて、最低制限価格を算出する方法。(津幡町にて導入)



いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

給食集金額を安く抑えて

現状を維持していく 教育長

一般質問



給食費をもっと安く

問 毎月の給食費負担を軽減されるように、町として食材費の一部を食育のための生きた教材として位置づけ、継続的に助成できる仕組みが必要だ。目安として、毎月集金の月額を3千円・2千円程度に抑えられるよう、子育て世代の負担軽減できる仕組みづくりできないか。

答 食材費が高騰している中、学校給食を適切に実施するため、本来は保護者が負担すべき食材費不足分を町は6月に500万円、12月に780万円、合計1,280万円を補填している。すでに多子世帯への助成や就学援助制度において保護者の負担軽減を図っており、さらなる負担軽減策は考えていない。

問 利用者の年代や性別などの店舗で何時頃に幾ら利用されたか、など様々なデータが得られるようになる。
得られたデータをオープンにし、町民のニーズをしっかりと捉えて、事業の効果を後にしっかりと検証可能にもなる。
元気内灘地域応援クーポン事業をスマホで交換利用できるようになる電子化をすすめよ。

応援クーポン券の電子化



クーポン券をスマホで利用

答 クーポン券の電子化は、手続の簡素化や効率化が図られることなどから、今後取り入れていく必要のある有効な手段だ。しかし、電子化することと、インターネット等の情報技術の恩恵を受けることのできる人とならない人の格差が生ずるなど、様々な課題を整理する必要がある。
DX推進の取組として調査研究していく。

その他の質問

問 ペーパーレス化を加速させよ。

答 庁舎内での会議や日常業務でも積極的に推進していく。

問 公共工事の入札では不正や疑いはないか。

答 これまでも、これからも適正かつ公正に取り組む。



きたがわ えつこ
北川 悦子

勤勉手当の対象は

町長 令和6年度から週29時間以上



おいしい給食ありがとう
(会計年度任用職員)

問 町の※会計年度任用職員数と男性、女性の人数を問う。

答 全員がパートタイム会計年度任用職員であり、12月1日現在、232名で、男性23名、女性209名。

任用の体系別では、パートタイム会計年度任用職員の月給（1週間の勤務時間35H）が99名、時給が133名（35H未満）。

問 令和6年4月1日からパートタイムの会計年度任用職員に対する勤勉手当を可能とするものとなっている。町では対象をどのように検討されているのか。

答 勤勉手当支給の対象は、1週間当たりの勤務時間が29時間以上で任期が6カ月以上の者とする予定。

補聴器購入と聴覚検診

問 補聴器購入助成制度の創設は、補聴器購入は高額で町民の関心は高い。補聴器の普及は、生活の質を落とさず、健やかに暮らすことができ、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながる。制度の創設を。

答 現在は考えていない。国の動向、他市町の制度を参考に調査研究。

問 健診に聴覚検診があれば、正確な聴覚を知ることができ、補聴器購入が必要か相談できる。金沢市で行っており、町でも健診のメニューに入れることができるか。

答 国の基準に基づき生活習慣病の予防を目的とした特定健診などを実施しており、聴力検査の規定はなく、現在のところ、実施する考えはない。

その他の質問

問 内灘町屋内温水プールの利用に障害者割引を適用せよ。

答 身体活動、運動を行う場として適している。近隣市町の状況を参考に、検討を進める。

問 元気内灘住宅リフォーム助成制度を来年度も実施の方向で検討せよ。

答 今後の地域経済の状況、景気の動向などを踏まえて検討する。



シルバー健診に聴覚検診を

※会計年度任用職員

2020年度から、自治体で働く臨時や非常勤といった非正規雇用職員を統一した制度で、任期は1年間の会計年度内が原則。8割から9割が女性で、事務、保育士、給食調理員、図書館司書や学童保育の支援員など様々である。



おんどう まさひろ
恩道 正博

被災者の支援制度を創設せよ

町独自の制度を整備したい 町長

一般質問



7月豪雨の現状（宮坂）

問 7月の線状降水帯による豪雨で、住家の床下浸水や非住家の被害が多く発生した。
自然災害により居住する住宅が被害を受け、国・県の被災者再建支援制度の補助対象とならない半壊以下や床上・床下浸水など一部半壊の世帯及び、感染症防止のために消毒費を助成する町独自の「被災者生活再建支援制度」を創設すべきだ。

答 線状降水帯による豪雨で、常に災害への備えが重要だと認識した。災害時には、速やかに被災者への支援を図る必要がある。そのために、国や県の被災者生活再建支援法が適用され、被害を受けた世帯のうち、国や県の被災者生活再建支援制度の対象とならない世帯に対し、町独自の支援制度を速やかに整備したい。

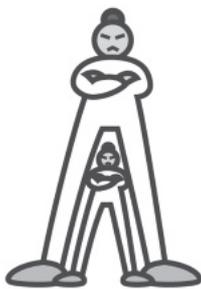
問 医療機関、介護・障害福祉サービス施設等の収入となる診療報酬などは公定価格で決められ、物価高騰の影響を価格転嫁ができない。
物価高騰に対する経済的負担の軽減に向け、町の医療機関、介護施設・障害福祉サービス等の社会福祉施設に対して、国の重点支援地方交付金を活用した町の支援策が必要だ。

医療施設の物価対策は

答 町では、令和4年度に介護保険施設及び障害者福祉施設に光熱費等の高騰に対する支援、また、令和4年5年度に、私立保育所等に給食材料費等の高騰に対する支援を行った。
石川県は今年度、医療機関、介護施設等への光熱費等の高騰に対する支援を行っており、現在のところ、町独自で支援する考えはない。



人手不足に苦勞する施設



大橋兄弟

不登校児童生徒へ支援の充実を

教育長 施設移転や職員増員を検討



にしお ゆうじ
西尾 雄次

問 本町の「総合教育会議」が11月13日に開催され不登校児童生徒の現状と課題について協議したとの報道があった。本町では中学校の不登校生徒数の増加が顕著で、その教育支援の体制充実が喫緊の課題ではないか。また、町教育センターは不登校児童生徒の増加で狭隘化が懸念され、さらには、教育支援の要員確保も必要ではないか。

答 内灘中学校では別室登校の生徒が増加し、使用している相談室の空調整備は急務と考えている。教職員の配置については、県への要望と町単独配置も考えている。また、教育センターは手狭なことから移転と職員の増員を検討している。教育相談体制の充実を図るため、カウンセラーの増員や相談時間の増加等も検討している。



内灘町教育センター（鶴ヶ丘）



野々市市 図書館（学びの杜ののいちカレード内）

新図書館と財政負担能力

問 新図書館整備の構想は、魅力ある町づくりの観点からこれに期待する声がある。

一方、町財政の健全性を確保するとの観点から図書館に係る過大な借入金で町財政を危うくするのではないかとこの議会・決算委員会からの懸念の指摘もある。

答 町の令和4年度決算では、実質公債費比率、将来負担比率とも法に定める基準値以下であり、財政指標上でも健全な財政を維持している。今後、老朽化した公共施設の整備を進めるため立地適正化計画を策定し財政負担の軽減を図る。また、大型事業を計画する際には将来負担比率等の推移を示し、健全な財政運営に努めたい。



おしさん



つちや かつゆき
土屋 克之

シルバー人材センターのインボイス対応は 国の動向に注視する

都市整備部担当部長

一般質問



心配なインボイス対応

問 10月1日から※インボイス制度が始まった。シルバー人材センターの新たな消費税の負担について、対策を検討したか。

答 業務の発注者が支払う事務費を、9%から11%に引き上げた。

その段階別に令和7年度、10年度、12年度以降の増税分はどうか。

答 順に約80万円、約200万円、約400万円の見込。

問 シルバーが町から請け負う業務を、※政府案のように町と会員さんとの契約にすれば、負担が大きく軽減されないか。

答 国の動向に注視する。

答 そのための方法について、これまでも複数の事業者から問い合わせがあったが、現在の場所での更新等は難しく、進展に至らなかった。

問 風車の撤去費用だが、概算で風車本体2億円、避雷塔2億円と聞く。撤去しか道がないとしても、新エネルギー事業特別会計の独自資金調達を望む。

風車撤去費用の消費税還付について



撤去費用にも含まれる消費税

答 風車の撤去費用等の予算を計上する際には検討する。

問 2億円には約1,800万円の消費税が含まれている。独自資金で風車本体を撤去し、さらに撤去時のスクラップを売却・雑収入が計上されたならば、その約1,800万円の消費税が還付されると思われる。このような考えはないか。

※インボイス対応政府案
シルバー人材センターと会員が契約を結ぶ現行の形態を、仕事の発注者と会員が実質的に結ぶ形態に変更するという、令和4年11月の政府与党案。

※インボイス制度
適格請求書（インボイス）の発行あるいは保存によって消費税の仕入税額控除が受けられる制度。
1,000万円以下の免税事業者も消費税を納付しなければならなくなる。

令和6年能登半島地震



うちなだ 議会だより

発行：内灘町議会 責任者：議長 七田 清男

〒920-0292 石川県河北郡内灘町字大字1丁目2-1
☎076-286-6715 FAX076-286-6711



被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます



1日も早い復旧・復興のため
議員一同も全力で取り組んでまいります



(宮坂地区)

編集後記

元日に起きた能登半島地震。内灘町も震度5弱の強い揺れに襲われ、液状化による見たこともない被害のひどさと断水状態が続き、困難な暮らしと今後にも眠れない日々が続いている事と思います。

「一度来てください」ほのぼの湯の前で、炊き出しのおにぎりと温かいめった汁を「おいしい」と微笑みながら何度も言われた言葉が、地震の恐ろしさをみんなで共有してほしい叫びに聞こえました。液状化の被害にたいして現在、国の支援策では不十分です。被災された皆様に耳を傾け議会として支援策の拡大と日常生活に早く戻れるよう頑張っています。

議会だよりが1ヶ月遅れ、お詫び申し上げます。

〔委員 北川 悦子〕

広報対策特別委員会

- 委員長 中村 聡
- 副委員長 土屋 克之
- 委員 北川 悦子
- 委員 川口 正己
- 委員 西尾 雄次

1部あたりの単価は43.40円です。

うちなだ議会だより 第156号 令和6年3月5日

